

22	オリンピック・パラリンピック準備局	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の準備
事業概要	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大のスポーツの祭典であるだけでなく、開催都市の社会や文化にも大きな変革をもたらす一大イベントである。</p> <p>東京2020大会は、東京再浮上の起爆剤となり得る大きな力を持っており、成熟都市東京が更に躍進を遂げるための絶好の機会となる。大会の成功はもとより、この大会開催を契機に、東京が抱える様々な課題解決を加速させ、世界一の都市・東京を実現していく。</p> <p>東京2020大会開催に向けて、オリンピック・パラリンピック準備局は、庁内各局、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）及び日本パラリンピック委員会（JPC）をはじめとしたスポーツ界、国、自治体、経済界などとの連携を一層強化し、着実に準備を進めている。</p>	
これまでの経過	<p>平成25年9月7日 第125次国際オリンピック委員会（以下「IOC」という。）総会において東京が「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市」に選定</p> <p>平成26年1月24日 一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会設立</p> <p>平成26年3月19日 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第1回）</p> <p>平成26年6月10日 平成26年第二回都議会定例会において、知事が会場計画の再検討を表明</p> <p>平成26年9月～12月 平成26年11月19日 1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業 オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会において、知事が会場計画の再検討の結果を報告</p> <p>平成26年11月26日 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第2回）</p> <p>平成26年12月19日 「選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプラン」の公表</p> <p>平成27年1月1日 組織委員会が一般財団法人から公益財団法人へ移行</p> <p>平成27年1月12日 東京2020オリンピック競技大会2020日前イベント開催</p> <p>平成27年2月27日 組織委員会がIOC・国際パラリンピック委員会（以下「IPC」という。）へ大会開催基本計画提出</p> <p>平成27年2月27日 東京2020オリンピック18競技の会場決定</p> <p>平成27年3月5日 東京2020パラリンピック競技大会2000日前イベント開催</p> <p>平成27年6月5日 「新規恒久施設に係る後利用の方向性」の公表</p> <p>平成27年6月9日 東京2020オリンピック8競技の会場決定（2月の決定分と合わせて26競技の会場が決定）</p> <p>平成27年7月22日 2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第3回）</p> <p>平成27年7月24日 東京2020オリンピックカウントダウンイベント「みんなのTOKYO 2020 5 Years to Go!!」開催</p> <p>平成27年7月30日 第1回東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議</p> <p>平成27年8月25日 東京2020パラリンピックカウントダウンイベント「みんなのTOKYO 2020 5 Years to Go!!」開催</p>	

平成 27 年 9 月 3 日	東京都ボランティア活動推進協議会（第 1 回）
平成 27 年 9 月 15 日	大井ホッケー競技場の施設配置計画変更を発表
平成 27 年 9 月 28 日	東京 2020 オリンピックの追加種目 5 競技 18 種目を IOC に提案
平成 27 年 10 月 6 日	アーチェリー会場及びテニス会場の配置計画変更
平成 27 年 10 月 9 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 1 回）
平成 27 年 11 月 6 日	「大井ホッケー競技場に係る後利用の方向性」の公表
平成 27 年 11 月 13 日	東京 2020 パラリンピック 19 競技の会場決定
平成 27 年 11 月 17 日	I B C / M P C の配置計画変更
平成 27 年 11 月 20 日	「2020 年に向けた東京都の取組（素案）」公表
平成 27 年 11 月 25 日	東京自治会館を拠点とした多摩島しょにおける 2020 年大会に向けた事業推進を開始
平成 27 年 11 月 27 日	2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会を設置
平成 27 年 12 月 1 日	新国立競技場の整備に係る財源案を合意
平成 27 年 12 月 9 日	東京 2020 オリンピック自転車競技会場決定
平成 27 年 12 月 22 日	「2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」を公表
平成 27 年 12 月 22 日	新国立競技場整備事業の優先交渉権者（事業者）決定
平成 27 年 12 月 22 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会（第 4 回）
平成 28 年 1 月 14 日	設計・施工一括発注技術提案型総合評価方式の結果公表 （オリンピックアクアティクスセンター、有明アリーナ、海の森水上競技場）
平成 28 年 1 月 27 日	新国立競技場の建設敷地に係る都有地（明治公園）の無償貸付決定
平成 28 年 1 月 30 日	「オリンピック・パラリンピックに向けたボランティアシンポジウム」を開催
平成 28 年 3 月 31 日	都、大会組織委員会、国の 3 者において、費用負担の見直しについて合意
平成 28 年 3 月 31 日	東京 2020 大会に向けたボランティアのウェブサイト「東京ボランティアナビ」を開設
平成 28 年 4 月 16 日	東京 2020 パラリンピック 2 競技の会場決定
平成 28 年 4 月 25 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会公式エンブレム決定
平成 28 年 4 月 28 日	東日本大震災被災地復興支援映像「2020 年。東京と東北で会いましょう。」を発表
平成 28 年 5 月 2 日	NO LIMITS SPECIAL GINZA&TOKYO を開催
平成 28 年 5 月 25 日	「新規恒久施設の施設運営計画（中間のまとめ）」の公表
平成 28 年 5 月 31 日	クリス・ホームズ卿を招聘
平成 28 年 6 月 24 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 2 回）
平成 28 年 6 月 28 日	都立競技施設整備に関する諮問会議（第 3 回）
平成 28 年 7 月 24 日	東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 4 Years to Go!!」開催
平成 28 年 7 月 27 日	東京 2020 大会に向けた都内事前キャンプ候補地紹介用ホームページ「東京 事前キャンプガイド ～for2020」の開設
平成 28 年 8 月 3 日	オリンピックの追加種目（5 競技 18 種目）が IOC 総会で採択
平成 28 年 8 月 5 日	リオ 2016 オリンピック競技大会開幕（現地時間）
平成 28 年 8 月 24 日	オリンピックフラッグ到着歓迎式開催

平成 28 年 8 月 25 日	東京 2020 パラリンピック カウントダウン イベント「みんなの Tokyo 2020 4 Years to Go!!」開催
平成 28 年 8 月 25 日	「NO LIMITS SPECIAL 大江戸ステーションスタジアム」開催
平成 28 年 8 月～9 月	リオ 2016 オリンピック・パラリンピック 競技大会において、「Tokyo2020 ジャパンハウス」を設置
平成 28 年 9 月 5 日	「東京 2020 ライブサイト in2016-リオから東京へ-」開催
平成 28 年 9 月 7 日	リオ 2016 パラリンピック 競技大会 開幕（現地時間）
平成 28 年 9 月 21 日	東京 2020 パラリンピック 5 人制 サッカー 競技会場 決定
平成 28 年 10 月 7 日	オリンピック・パラリンピック フラグ 掲揚式 開催
平成 28 年 10 月～	「リオ デジャネイロ オリンピック・パラリンピック 日本代表選手 団 合同パレード」開催
平成 28 年 11 月 1 日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラグ ツアー」を 実施
平成 28 年 11 月 29 日	オリンピック・パラリンピック フラグ 展示コーナーの オープニ ング セレモニー を 実施
平成 28 年 12 月 7 日	四者 協議 を 開催（知事 が 海 の 森 水 上 競 技 場、オ リ ン ピ ッ ク ア ク ア ティ ク ス セ ン ター の 新 設 と コ ス ト 縮 減 を 表 明）
平成 28 年 12 月 15 日	東京 2020 オリンピック 追加 種 目（5 競 技 18 種 目）の 会 場 決 定
平成 28 年 12 月 20 日	「東京 2020 大会 に向けた ボラン ティ ア 戦 略」策 定
平成 28 年 12 月 22 日	2020 年 オリンピック・パラリンピック 大会 に向けた 多 言 語 対 応 協 議 会（第 5 回）及 び 多 言 語 対 応・I C T 化 推 進 フォーラム を 開 催
平成 29 年 1 月 20 日	有 明 アーリーナ の 管 理 運 営 に 関 す る ヒア リ ン グ の 実 施 を 発 表
平成 29 年 1 月 22 日	第 2 回 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競 技 大 会 輸 送 連 絡 調 整 会 議
平成 29 年 2 月～	東京 都 ボラン ティ ア 活 動 推 進 協 議 会（第 2 回） 「オ リ ン ピ ッ ク・パ ラ リ ン ピ ッ ク に 向 け た ボ ラ ン ティ ア シ ン ポ ジ ウ ム ～ リ オ か ら 東 京 へ ～」を 開 催
平成 29 年 3 月 6 日	「都 市 鉾 山 か ら つ く る！ み ん な の メ ダ ル プ ロ ジ ェ ク ト」の 開 始 に 先 立 ち、都 庁 舎 で の 携 帯 電 話 等 小 型 電 子 機 器 の 回 収 を 開 始
平成 29 年 3 月 14 日	東京 2020 大 会 開 催 に 伴 う 経 済 波 及 効 果 を 公 表
平成 29 年 3 月 17 日	「武 蔵 野 の 森 総 合 ス ポー ツ プ ラ ザ」竣 工
平成 29 年 3 月 24 日	東京 2020 オリンピック 野 球・ソ フ ト ボー ル の 追 加 会 場 決 定（福 島 あ づ ま 球 場）
平成 29 年 4 月 6 日	「Tokyo2020 アク セ シ ビ リ ティ・ガ イ ド ラ イ ン」を 公 表
平成 29 年 4 月 19 日	武 蔵 野 の 森 総 合 ス ポー ツ プ ラ ザ の 指 定 管 理 者 の 募 集 開 始
平成 29 年 5 月 6～7 日	新 規 恒 久 施 設 の 施 設 運 営 計 画 を 策 定
平成 29 年 5 月 18 日	NO LIMITS SPECIAL 2017 上 野 を 開 催
平成 29 年 5 月 31 日	第 3 回 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競 技 大 会 輸 送 連 絡 調 整 会 議
平成 29 年 6 月 5 日	2020 年 東京 オリンピック・パラリンピック 競 技 大 会 に 向 け た 関 係 自 治 体 等 連 絡 協 議 会（第 2 回）を 開 催
平成 29 年 6 月 9 日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競 技 大 会 の 役 割（経 費）分 担 に 関 す る 基 本 的 な 方 向 に つ い て」合 意
平成 29 年 6 月 9 日	輸 送 運 営 計 画 V 1 を 策 定
平成 29 年 6 月 9 日	第 1 回 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競 技 大 会 交 通 輸 送 技 術 検 討 会 を 開 催
平成 29 年 6 月 9 日	東京 2020 大 会 選 手 村 の 3 R の 取 組 アイデア の 募 集 開 始

平成 29 年 6 月 9 日	東京 2020 オリンピック競技大会の種目決定 (28 競技 321 種目)
平成 29 年 6 月 22 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 (第 6 回)
平成 29 年 7 月 4 日	2017 多言語対応・ICT 化推進セミナー ～東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて～を開催
平成 29 年 7 月 24 日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーフェスティバル～みんなの Tokyo 2020 3 Years to Go!～」開催 「みんなでラジオ体操プロジェクト」キックオフイベント
平成 29 年 7 月～	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアー」の全国展開を開始
平成 29 年 8 月 25 日	「あと 3 年で開幕!!!東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント～みんなの Tokyo 2020 3 Years to Go!～」開催
平成 29 年 8 月 28 日	「有明アリーナの管理運営に関する基本的考え方」の公表
平成 29 年 10 月 28 日	東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 1000 Days to Go!」を開催
平成 29 年 11 月 25 日	武蔵野の森総合スポーツプラザ開業
平成 29 年 11 月 29 日	東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント「みんなの Tokyo 2020 1000 Days to Go!」開催
平成 29 年 12 月 6 日	東京 2020 オリンピック新種目等 (3 競技 8 種目) の会場決定
平成 29 年 12 月 25 日	有明アリーナ管理運営事業実施方針の公表
平成 30 年 1 月 10 日	第 2 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会を開催
平成 30 年 1 月 19 日	第 4 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議
平成 30 年 1 月 21 日	「東京 2020 大会に向けたボランティアシンポジウム～ボランティアの本質を探る～」を開催
平成 30 年 1 月 30 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会 (第 7 回) 及び多言語対応・ICT 化推進フォーラムを開催
平成 30 年 2 月 3 日	東京 2020 オリンピック 2 競技の会場変更 (陸上競技 (競歩)、自転車競技 (ロード))
平成 30 年 2 月 9 日	熊本地震被災地復興支援映像「2020 年。東京と熊本で会いましょう。」を公表
平成 30 年 2 月～3 月	平昌 2018 冬季オリンピック・パラリンピック競技大会において、「Tokyo2020 ジャパンハウス」を設置 「東京 2020 ライブサイト in 2018」開催
平成 30 年 3 月 7 日	東京 2020 パラリンピック自転車競技 (ロード) 会場決定
平成 30 年 3 月 9 日	「東京 2020 大会における都市運営に係る基本方針」の策定 「東京 2020 大会の安全・安心の確保のための対処要領」(第一版)の公表
平成 30 年 3 月 18 日	都市ボランティアが実践するおもてなしのアイデアを競うイベント「IDEA for TOKYO コンテスト」を開催
平成 30 年 3 月 28 日	都市ボランティア募集要項 (案) 公表
平成 30 年 4 月 10 日	東京オリンピック・パラリンピック調整会議を開催 組織委員会が聖火リレーコンセプトを発表
平成 30 年 4 月 12 日	第 5 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議
平成 30 年 4 月 13 日	東京都体育施設 (海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、東京アクアティクスセンター) 指定管理者の募集

平成 30 年 4 月 27 日	「東京 2020 大会期間中のライブサイトに関する開催都市東京の考え方」公表
平成 30 年 5 月 2 日	東京 2020 オリンピックサッカー会場決定（東京 2020 大会の全競技会場決定）
平成 30 年 5 月 5～6 日	NO LIMITS SPECIAL 2018 東京丸の内を開催
平成 30 年 5 月 28 日	特定事業（有明アリーナ管理運営事業）の選定結果の公表
平成 30 年 5 月 31 日	東京 2020 オリンピックマラソン及び競歩コース決定
平成 30 年 6 月 11 日	都市ボランティア募集要項公表
平成 30 年 6 月 22 日	有明レガシーエリアのまちづくりに向けた民間事業者からの事業提案を募集（サウンディング調査）
平成 30 年 7 月 10 日	第 1 回東京都聖火リレー実行委員会開催
平成 30 年 7 月 11 日	有明アリーナ管理運営事業事業者募集
平成 30 年 7 月 17 日	第 1 回東京 2020 大会に向けた東京都安全・安心推進会議を開催
平成 30 年 7 月 18 日	東京 2020 オリンピックセッションスケジュール決定
平成 30 年 7 月 22 日	「東京 2020 マスコットデビューイベント」を開催
平成 30 年 7 月 24 日	「開催まであと 2 年！東京 2020 オリンピックカウントダウンイベント～みんなの Tokyo 2020 2 Years to Go!～」開催
平成 30 年 8 月 2 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピックトライアスロンコース決定
平成 30 年 8 月 6 日	東京 2020 パラリンピック競技大会の種目決定（22 競技 540 種目）
平成 30 年 8 月 8 日	「2020TDM 推進プロジェクト」発足式
平成 30 年 8 月 9 日	東京 2020 オリンピック自転車競技（ロードレース）コース決定
平成 30 年 8 月 13 日	「東京 2020 大会に向けた暑さ対策の実証実験」開始
平成 30 年 8 月 22 日	東京都体育施設（海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場、東京アクアティクスセンター）指定管理者候補の決定
平成 30 年 8 月 25 日	「開催まであと 2 年！東京 2020 パラリンピックカウントダウンイベント～みんなの Tokyo 2020 2 Years to Go!～」開催
平成 30 年 9 月 8～9 日	復興オリンピック・パラリンピックに向けた被災地メディアツアーの実施
平成 30 年 9 月 14 日	2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会実務担当者交流ワークショップを開催
平成 30 年 9 月 26 日	都市ボランティア募集開始（12 月 21 日まで）
平成 30 年 10 月 2 日	テストイベントカレンダー（第 1 弾）の公表
平成 30 年 10 月 10 日	東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技ロードコース決定
平成 30 年 10 月 19 日	東京 2020 パラリンピックセッションスケジュール決定
平成 30 年 10 月 22 日	有明レガシーエリアのまちづくりに向けた民間事業者からの事業提案の募集結果公表（サウンディング調査結果）
平成 30 年 10 月 31 日	第 3 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会を開催
平成 30 年 11 月 6 日	第 6 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議を開催
平成 30 年 11 月 22 日	テストイベントカレンダー（第 2 弾）の公表
平成 31 年 1 月 23 日	テストイベントカレンダー（第 3 弾）の公表
平成 31 年 1 月 25 日	大会に向けて都庁自らが行う TDM の取組項目を設定
平成 31 年 1 月 25 日	「東京 2020 大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画（案）」の公表
平成 31 年 1 月 25 日	「東京 2020 ライブサイト等基本計画（案）」の公表

平成 31 年 1 月 28 日	大会スタッフ及び都市ボランティアのネーミングを「フィールドキャスト/シティ キャスト」に決定
平成 31 年 2 月 6 日	第 4 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会交通輸送技術検討会を開催
平成 31 年 2 月 9 日	シティ キャスト（都市ボランティア）面談・説明会開始
平成 31 年 2 月 22 日	東京 2020 大会開催まで 500 日
平成 31 年 3 月 15 日	東京都体育施設（海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター）供用開始日及び完成披露式典の日決定
平成 31 年 3 月 27 日	第 7 回東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会輸送連絡調整会議を開催
平成 31 年 3 月 29 日	有明アリーナの大会後の管理運営を担う運営権者の候補者が決定
平成 31 年 3 月 29 日	「東京 2020 大会のシティドレッシング・大規模展示物基本計画」の公表
平成 31 年 3 月 30 日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック フラッグツアーファイナルイベント～Tokyo 2020 500 Days to Go!～」開催

1 役割（経費）分担に関する基本的な方向について  
 平成 29 年 5 月に開催された「2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた関係自治体等連絡協議会（第 2 回）」において、東京都、国、組織委員会及び競技会場が所在する自治体は、役割分担及び経費分担に関する基本的な方向について合意をした。  
 また、9 月には東京都、国、組織委員会により「共同実施事業管理委員会」を設置。大会経費のうち、組織委員会が東京都、国等の関係者が負担する資金を使用して実施する事業について、コスト管理と執行統制の強化等を図るとともに、事業の実施状況を確認し、適切な執行を推進している。

2 競技会場等の整備  
 東京 2020 大会で使用する競技会場等のうち、東京都は新規恒久施設等の整備（オリンピックスタジアムを除く。）、開設準備及び後利用の検討、既存都立施設の改修を担当している。  
 大会開催に向け、着実な整備を進めるとともに、平成 29 年 4 月に「新規恒久施設の施設運営計画」を公表するなど大会後も新規恒久施設を都民、国民の貴重な財産として有効活用していく。  
 選手村については、平成 27 年 12 月に策定した「2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」で示した「誰もがあこがれ住んでみたいと思えるまち」とするため、民間事業者の活力とノウハウを活用しながら整備を進めている。

- （新規恒久施設）
- ・東京アクアティクスセンター
  - ・海の森水上競技場
  - ・有明アリーナ
  - ・カヌー・スラロームセンター
  - ・大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場
  - ・夢の島公園アーチェリー場

新規恒久施設等の整備状況

平成30年8月時点

会場名	スケジュール					
	平成27(2015)年度	平成28(2016)年度	平成29(2017)年度	平成30(2018)年度	平成31(2019)年度	平成32(2020)年度
東京アクアティクスセンター	基本設計委託	実施設計・工事				
海の森水上競技場	基本設計委託	実施設計・工事				
有明アリーナ	基本設計委託	実施設計・工事				
カヌー・スラロームセンター	基本設計委託	実施設計委託	工事			
大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場	基本設計委託	実施設計委託	工事			
夢の島公園アーチェリー場	盛土設計委託	盛土工事	施設設計委託	施設工事		
有明テニスの森公園テニス施設	基本設計委託	実施設計委託	工事			
武蔵野の森総合スポーツプラザ	工事					

※ 会場名は、案例名称を表記

### 3 大会運営

#### (1) ボランティア

東京 2020 大会のボランティアには、大会運営を支える大会ボランティアと主要駅や観光地などで観光・交通案内を行う都市ボランティアがあり、大会ボランティアは組織委員会が、都市ボランティアは東京都が運営を行う。東京 2020 大会の成功に向けて、ボランティア活動の推進や、ボランティアへの参加気運の醸成・裾野拡大のため、平成 27 年度、「東京都ボランティア活動推進協議会」を設置、平成 28 年 12 月には「東京 2020 大会に向けたボランティア戦略」を策定、平成 30 年 6 月に都市ボランティアの募集要項を公表し、同年 9 月から募集を開始し、2 万人の募集に対して 36,649 人の応募があった。平成 31 年 2 月からは面談・説明会を開始し、活動にあたってのご都合やご意向、配慮・支援が必要な内容等を丁寧に伺っている。

#### (2) 輸送

「輸送連絡調整会議」や「交通輸送技術検討会」の場を通じて、組織委員会とともに関係者間で輸送ルートの検討や調整を進めており、大会関係者及び観客・スタッフの安全・円滑な輸送と都市活動の安定を図るため、輸送方法等について検討している。

また、大会期間中は何も対策を講じない場合、道路や鉄道の混雑が予想され、大会運営だけでなく市民生活や経済活動にも影響が生じる可能性があるため、交通量の抑制・分散・平準化を図る交通需要マネジメント（TDM）を推進している。平成 30 年 8 月には、国、組織委員会とともに「2020 TDM 推進プロジェクト」を立ち上げ、業界団体や企業等へ参画を呼びかけるとともに、大会時の混雑を回避する準備を働き掛けている。

さらに、平成 31 年 1 月には、大会に向けて都庁自らが行う TDM の取組項目を設定した。今後、「都庁 2020 アクションプラン」の取りまとめに向け、具体的な取組内容の検討を進めていく。

#### (3) セキュリティ

東京 2020 大会に訪れる全ての人の安全・安心を確保するため、治安対策・サイバーセキュリティ・災害対策・感染症対策の視点から各種事態を想定した「東京 2020 大会の安全・安心の確保のための対処要領」を平成 30 年 3 月に策定した。

また、平成 30 年 7 月には、大会の安全・安心の確保に向け、「東京 2020 大会に向けた東京都安全・安心推進会議」を設置し、国や組織委員会のほか、新たに区市町村、重要インフラ事業者などの参画を得たところであり、官民一体となった危機管理体制を一層強化した。

### 4 事前キャンプ

事前キャンプは、各国の競技団体等が大会前に任意に行うトレーニングキャンプで、開催都市だけでなく開催国各地などで実施される。東京都は、誘致主体である都内区市町村に対し、誘致に参考となる情報提供、都内施設の PR や各国オリンピック・パラリンピック委員会等の視察受入れなど、積極的に支援を行っている。

平成 28 年 7 月には、都内の候補地等を PR するため、ホームページを開設し、情報発信を強化した。

### 5 多言語対応の推進

平成 26 年 3 月、東京都や国をはじめ、関係団体・機関で構成される「2020 年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」を立ち上げ、表示・標識等の多言語対応に取り組み、外国人旅行者が円滑に移動し安心して快適に滞在できる環境整備を推進している。



	<p>6 パラリンピックに向けた取組</p> <p>障害の有無に関わらず、すべての人々にとって利用しやすい施設となるよう、大会で使用する都立恒設競技施設について、大会時のバリアフリー化の指針である「Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン」を踏まえた整備を行っている。また、大会後も見据えた施設の使い勝手について障害者団体等から意見を聴取する「アクセシビリティ・ワークショップ」を設置し、聴取した意見や要望は可能な限り設計に反映させている。</p> <p>また、パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を都内各地で開催し、パラリンピック大会の認知度向上と気運醸成を図っている。</p> <p>7 大会開催気運醸成</p> <p>東京 2020 大会の成功に向けて、都民・国民の盛り上がりは不可欠であるため、大会前から大会期間にかけて、1年前イベントの実施や、シティドレッシング、大規模展示物、ライブサイトなど、翌年の大会本番に向け、祝祭空間の創出に取り組み、オールジャパンの気運を高めていく。</p> <p>また、持続可能な社会の実現に向け、使用済小型家電等から抽出した金属で大会メダルを製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」（組織委員会主催）に協力するため、都庁舎等で回収を実施。平成 31 年 3 月 31 日をもって、回収を終了した。</p> <p>8 レガシー</p> <p>東京 2020 大会のレガシーには、競技施設や選手村の後利用等のハード面と、スポーツへの関心の高まり、文化振興等のソフト面があり、分野も多岐に渡る。都は、2020 年のその先を見据え、価値あるレガシーを残すための取組を「2020 年に向けた東京都の取組－大会後のレガシーを見据えて－」として取りまとめ、公表した。</p> <p>9 被災地復興支援</p> <p>東京 2020 大会招致の際に、東日本大震災からの復興を目標として掲げ、平成 26 年 7 月に設置された、都、組織委員会、被災県等で構成される「被災地復興支援連絡協議会」において今後の復興支援の取り組みを進めている。</p> <p>スポーツを通じて元気を取り戻しつつある東北や熊本の姿を世界の方々に知ってもらうための映像を制作し、平昌 2018 大会のジャパンハウス等で上映し、国内外に向けて広く発信している。</p> <p>平成 30 年 9 月には、海外メディアを対象に、宮城県及び福島県のスポーツイベント等の取材に案内し、スポーツの力を通じて元気を取り戻しつつある被災地の姿や子供達の笑顔を、世界中に発信する機会を提供した。</p> <p>10 聖火リレー</p> <p>聖火リレーは、シンボルである聖火を掲げることで、平和、団結、友愛というオリンピックの理想を体現し、大会への関心と期待を呼び起こすものであり、ランナーや、観衆、地域住民、ボランティアなど多くの人々が大会に参加できる貴重な機会である。</p> <p>「復興オリンピック・パラリンピック」としての位置付けから、東京2020オリンピック聖火リレーは 2020 年 3 月 26 日に福島県から出発し、開催都市である東京都は 2020 年 7 月 10 日から 24 日までの最後の 15 日間を担う。</p>
<p>今後の見通し</p>	<p>平成 31 年 6 月～平成 32 年 5 月 テストイベント（予定）</p> <p>平成 32 年 7 月～9 月 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会</p> <p>競技会場や選手村などの大会関連施設について、着実に整備を進めていく。</p> <p>ボランティア、輸送、セキュリティなど、運営面についても着実に準備を進めていく。</p> <p>東京 2020 大会を成功に導くため、庁内各局、組織委員会及び関係団体と連携し、大会開催気運の醸成を図るとともに、大会準備を着実に進めていく。</p>

問い合わせ先	オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 総務課	電話	03-5388-2217
	オリンピック・パラリンピック準備局 総務部 企画調整課	電話	03-5388-7836
	オリンピック・パラリンピック準備局 計画推進部 調整課	電話	03-5388-2873
	オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部 調整課	電話	03-5388-2218
	オリンピック・パラリンピック準備局 大会施設部 調整課	電話	03-5388-2179